

## 2 計画の進行管理

## 2 計画の進行管理

### (1) 第2期環境基本計画前期行動計画

第2期環境基本計画前期行動計画は、ふじみ野市の豊かな自然環境と都市環境が調和する良好な環境を将来に引き継ぎ、また、地球環境保全などの環境課題に対し、市、市民、事業者が共通の目標を掲げ推進するために策定されました。

本計画は、施策の方向性である4つの「施策の柱」を定め、それぞれの柱ごとに、基本的な考え方と施策の展開を示し、その方向性にそって各主体が取り組み、より実効性あるものとするために行動指標を設定しています。

この行動指標は平成28年度を基準年度、令和4年度を目標年度として48の数値目標等を定め取り組んでいます。

### (2) 令和3年度の進捗状況

第2期環境基本計画前期行動計画には48の行動指標がありますが、そのうち「現在評価が可能な46指標※」について達成の有無を「評価1※※」としたところ、目標を達成できたものは20項目43%、途中の進捗状況も加味した「評価2※※※」では62%でした。

※ 現在評価が可能な46指標

「1人当たりの公園等面積」と「緑被率」の2指標については、次期「緑の基本計画」策定の際に算出を想定しており、それを除くと現在評価可能な指標は46です。

※※ 「評価1」

令和4年度の目標値に対し、達成していれば「○」、未達成の場合は「×」。

※※※ 「評価2」(進捗状況を加味した評価)

令和4年度の目標値に対し、達成済3点(100%達成)、あと少し2点(約90%達成)、一部実施1点(10~90%達成)、未着手又はほぼ進んでいない0点(0~10%達成)として点数化しました。

◎ 第2期環境基本計画・前期行動計画の進捗状況(令和3年度)

「評価1」: 目標値に対し、達成していれば「○」、未達成の場合は「×」。

「評価2」: 達成3点(100%達成)、あと少し2点(約90%達成)、一部実施1点(10~90%達成)、未着手又はほぼ進んでいない0点(0~10%達成)として点数化。

施策	行動指標	単位等	現 状 平成28年度	目 標 令和4年度	令和3年度	評価1	評価2	所管	令和3年度の実績	令和3年度の課題等(今後の課題取組等)
(1) 家族や各年代が参加できる場の提供	1 環境学習館における環境に関する講座数	回	18	36	20	×	2	環境課	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた実施回数から減少した。	新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、新しい講座を開催していく。
	2 学校における環境教育	実施状況	小中全校で実施	小中全校で実施	小中全校で実施	○	3	学校教育課	新型コロナウイルス感染症の影響があったが、感染症対策を徹底しながら、環境センターへの見学を行った。社会科や総合的な学習の時間に環境教育を実施した。環境ポスターコンクールへの参加を児童に促した。	感染症対策を徹底しながら、校外での環境教育の実施を行う。学習指導要領に基づき、環境教育を推進する。環境問題改善の啓発のため、ポスターコンクール等の参加を促す。
	3 環境フェア実行委員参加団体数(個人参加含む)	団体・個人	18	20	0	×	0	環境課	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの開催方法を検討する。
	4 エコラポフェスタの開催回数	回	—	1	0	×	0	環境課	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの開催方法を検討する。
	5 こどもエコクラブの登録数	団体	1	2	1	×	1	環境課	登録団体：ふじみ野こどもエコクラブ	平成28年度に2団体から1団体に減少した。ホームページで団体紹介しているが、PR不足は否めない。
(1) 地域や団体が連携した環境事業の推進	6 環境協働事業を実施した環境活動団体数	団体	4	6	3	×	1	環境課	花と緑部会：緑のカーテンの普及促進 上福岡駅前に花と緑を育てる会：上福岡駅前ロータリーの花壇化 ごみ減量をすすめる会：ペランダ de キーエーの普及促進	継続事業が多く、新規事業や新規団体の参入が少ない。また、新型コロナウイルスの影響により活動の幅が縮小している。目標達成のためには予算措置が必要となる。
	7 大学や企業と連携した環境学習事業	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	教育機関(文教学院大学)や企業(KDDI総合研究所)との連携した環境学習事業を行った。	引き続き近隣の教育機関や企業と連携した事業運営を行っていく。
	8 地域環境美化自主活動延べ参加者数	人	8,201	8,693	4,901	×	1	環境課	・地域環境美化自主活動の支援 ごみ袋配布枚数 5,903枚 ごみ回収回数 116回 ごみ回収量 5,446kg 延べ参加人数 4,901人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を自粛した団体が多く、前年度実績を大幅に下回っている。引き続き美化活動を推進していく必要がある。
(1) 環境情報の提供	9 環境年次報告書の発行・市HPへの公表	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	2月発行・HP掲載	市民への周知とともに、経年変化の把握のうえでも毎年発行する必要がある。
	10 環境情報のネットワーク化した環境活動団体数	団体	—	6	0	×	0	環境課	実績なし。	まずは環境協働事業実施団体のネットワーク化により、情報の共有化等を検討する。
(2) 環境調査の充実	11 環境調査の実施	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	【大気汚染、河川等水質、騒音・振動・交通量調査業務】 河川水質：年4回5地点 BOD(環境基準5mg/L以下) 新河岸河(川崎橋) 1.4mg/L、1.0mg/L、1.0mg/L、1.5mg/L 新河岸川(新伊佐島橋) 1.2mg/L、0.8mg/L、0.6mg/L、1.1mg/L ※ 参考(河川ではないため環境基準に係る類型指定なし) 福岡江(川)通橋 0.5mg/L、0.5mg/L、0.5mg/L、0.5mg/L 砂川堀(織部橋) 3.1mg/L、2.2mg/L、3.3mg/L、6.5mg/L 砂川堀(栄橋) 0.9mg/L、0.9mg/L、0.7mg/L、1.1mg/L	砂川堀(織部橋)のBODの環境基準(5mg/L)を超過しているため、引き続き経過を確認が必要である。

(1) 清潔で憩いのあるまちづくり	12 ポイ捨て及び路上喫煙防止キャンペーン	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	第1回：令和3年5月12日実施 118人参加 第2回：令和3年11月10日実施 111人参加	市民アンケートの結果、「タバコやごみのポイ捨てのマナー」について不満度が高く、さらに啓発が必要である。
	13 道路清掃美化活動団体数(道路サポーターズ)	団体	8	10	9	×	2	道路課	令和3年度に新規に1団体登録があった。	新規登録団体を増やし、道路美化活動等に協働による維持管理を推進する。
	14 犬の飼い方しつけ方教室の実施	実施状況	実施	実施	未実施	×	0	環境課	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの開催方法を検討する。
(2) 魅力あるまちなみ、景観の保全と創造	15 苦情があった空き地の未改善箇所数(年度末現在)	箇所	2	0	2	×	1	環境課	苦情26件のうち未改善箇所が2カ所	苦情があった空き地の指導はもちろん、当該年度に苦情がなくても、以前、課題のあった空き地の一斉調査による指導も必要である。(不適切な空き地は毎年同様に放置されるケースが多い。)
	16 屋外広告物除去作業回数	回	28	25	21	×	1	道路課	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から作業回数を減らしている。	違反の屋外広告物を除去することにより、青少年への健全育成を図り、地域の環境美化の推進を図る必要がある。
(3) うるおいとやすらぎの場の創出	17 1人当たりの公園等面積	m <sup>2</sup> /人	3.1	5.0	3.46	×	1	公園緑地課	新規の公園整備や開発に伴う提供公園の採納がなく、あわせて人口が減ったため、1人当たりの公園等面積が微増となった。	今後、公園等面積を増やす方策を検討する必要がある。
	18 公園等愛護会の数	団体	45	51	40	×	1	公園緑地課	1団体が活動継続困難になり解散した。	既存の愛護会が活動を継続できるようなサポートをするとともに、新たに愛護会を設立してもらえよう呼びかける必要がある。
	19 市と連携した公園ボランティアの団体数	団体	1	4	0	×	0	公園緑地課	公園ボランティア団体の立ち上げはなかった。	愛護会とは異なるボランティア制度の創設について検討する必要がある。
(1) 安全・安心に住みあえるまち	20 交通安全教室の開催回数	回	16	16	16	○	3	道路課	交通安全の啓発活動の一環として、交通安全教室を開催している。	交通安全の啓発活動の一環として、交通安全教室を開催し、交通事故の防止の推進を図る。
	21 市が管理している道路照明灯等のLED化率	%	15.3	100	100	○	3	道路課	市が管理している道路照明等はLED化している。	維持管理に係る人件費のほか、維持管理費について軽減を図る。
	22 自治組織の加入率	%	56.7	59.5	47.9	×	1	協働推進課	11月を「自治組織加入促進月間」と定め、パンフレットの全戸配付やポスターの掲出、市ホームページ(トップページ)への表示等、自治組織とタイアップしながら加入促進の取組の強化に努めた。また、平時においても、転入者への加入案内や、埼玉県宅地建物取引業協会埼玉西部支部との協定に基づき、事業者からも入居者に働きかけをしてもらっている。	加入率については、役員の高齢化・固定化及び実施事業の硬直化など様々な課題を抱えており、左記の取組についてもすぐに効果が表れづらいのが現状であるが、継続的な取組が必要であると考えているため、今後も引き続き実施していくとともに、有効策を検討していく。
	23 雨水貯留浸透施設の設置数	箇所	45	52	54	○	3	上下水道課	貯留浸透施設の設置2基	計画的に浸水実績がある箇所に雨水貯留浸透施設の設置を推進しているが、設置できる場所も限られており、近年のゲリラ豪雨に対して万全とは言い切れない。
	24 野焼きの防止(改善/指導の割合)	%	100	100	100	○	3	環境課	指導実績3件	現場を確認して指導する必要がある、通報の受理から迅速な対応が求められる。
(1) 公害の未然防止・拡大抑制	25 大気環境基準達成率(二酸化窒素と浮遊粒子状物質)	%	100	100	100	○	3	環境課	一般環境大気調査(自動計測器) 二酸化窒素 期間最大値0.064ppm 一般環境大気調査(簡易測定) 沿道大気調査(自動測定器)	大気汚染の最も基本となる数値であり、市民の健康を守るため継続した確認が必要である。
	26 河川の水質(生物化学的酸素要求量)	%	100	100	100	○	3	環境課	【大気汚染、河川等水質、騒音・振動・交通量調査業務】 河川水質：年4回5地点 BOD(環境基準5mg/L以下) 新河岸河川(川崎橋) 1.4mg/L、1.0mg/L、1.0mg/L、1.5mg/L 新河岸河川(新伊佐島橋) 1.2 mg/L、0.8mg/L、0.6mg/L、1.1 mg/L ※ 参考(河川ではないため環境基準に係る類型指定なし) 福岡江川(川通橋) 0.5mg/L、0.5mg/L、0.5mg/L、0.5mg/L 砂川堀(織部橋) 3.1mg/L、2.2mg/L、3.3mg/L、6.5mg/L 砂川堀(茶橋) 0.9mg/L、0.9mg/L、0.7mg/L、1.1mg/L	砂川堀(織部橋)のBODの環境基準(5mg/L)を超過しているため、引き続き経過を確認が必要である。
	27 浄化槽維持管理状況の把握	実施状況	—	実施	実施	○	3	環境課	浄化槽の維持管理状況の把握に努めた。	浄化槽法第11条の法定検査の受検が確認できていない浄化槽使用者へ適正管理をするよう通知書の発送を3年ごとに定期実施していく。 令和3年度は7月に実施(11人槽以上)

(1) 地域温暖化防止対策の推進	28 庁用車の低公害車導入率（アイドリングストップ付き自動車を含む。）	%	19.7	42.7	49.4	○	3	資産管理課	公用車全91台中45台が低公害車（アイドリングストップ機能付き含む）	引き続き、使用年数の長い市有車両等を少しずつ新しい低公害車に変更するとともに、車両の使用頻度を確認しながら、適正かつ効率的な車両台数となるよう調整を図っていく。
	29 公共施設における屋上緑化、緑のカーテン等の設置施設数	施設	29	35	14	×	1	環境課	全81施設の内、14施設が実施。	前計画では、平成29年度目標値30に対し平成28年度実績29とあと1に迫ったため、新計画では目標35に増やしたが、平成29年度21、平成30年度13、令和元年度20、令和2年度13と大幅な減となってしまった。
	30 公共施設の電気使用量	Kwh	17,691,615	16,807,035	12,685,174	○	3	環境課	目標を達成した。	目標を達成したが、引き続き削減に努める必要がある。
	31 学校給食における県内産食材の割合（種類の割合）	%	11.7	15.0	15.6	○	3	学校給食課	県内産食材を活用した給食を提供できた。	県内産の積極的な活用は環境に優しい政策であると考えられるが、原材料については畑の面積が広大な県外の地域の方が安価な傾向もあり、埼玉県内産を優先するとコストが上がってしまう可能性がある。
(1) 廃棄物発生抑制と減量化の推進	32 1人1日当たりのごみの量（家庭系、事業系）	g/日・人	家庭系604 事業系176	家庭系585 事業系154	家庭系591 事業系154	×	2	環境課	平成30年度までは減少を続け、「1人1日あたりの生活系ごみ量が少ない市」5年連続県内1位を達成していたが、令和2年度は新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言の影響等による集積もり需要によりごみ量が増加した。しかし令和3年度再び「1人1日あたりの生活系ごみ量が少ない市」県内1位を獲得した。また、同じく営業自棄により事業系ごみは減少した。	新型コロナウイルス感染症の影響により在宅時間が増えたため、家庭ごみが増加傾向にある。これまで以上に3R及び分別意識の啓発に取り組む。
	33 最終処分量	t	571	356	433	×	1	環境課	年々減少傾向にはあるが、目標には届いていない。	小型家電リサイクルボックス（公共施設に設置）や小型充電式電池リサイクルボックス（家電量販店など）の利用を推進していく。
	34 生ごみ処理容器販売件数	基	67	80	53	×	1	環境課	市役所本庁舎においてキエーロ相談会を3回実施した。	広報やホームページ内のペランタdeキエーロ紹介ページを充実させ、認知度を上げる。市のイベント以外での販促活動についても検討していく。
	35 集団資源回収量	kg	570	570	335	×	1	環境課	対象の資源物（新聞紙、ダンボール、雑誌がみ、布類、アルミ缶、生きびん）の自主的な回収活動を行った自治会等の団体に対し、回収量に応じた報奨金を交付した。R4年度からは対象品目に雑誌、紙バックを追加し、また電子申請も開始するため、回収量の増加が見込まれる。	主に古紙類の買い取り価格が下落もしくは逆有償となってしまっており、回収量が減少してしまっているため、報奨金の単価や対象品目の見直しを検討していく必要がある。
(2) 再利用・リサイクルの推進	36 焼却ごみ量	Kg/年	24,378	22,776	22,211	○	3	環境課	ふじみ野市・三芳町環境センターでの焼却量全体を、三芳町との可燃ごみの搬入量割合で按分している。 30999.3t（焼却量）×71.65%（ふじみ野市割合）	資源化可能な紙類などの可燃ごみへの混入が、家庭ごみ・事業ごみとともにまだまだ多くみられることから、収集業者等と連携し、市民及び事業者に対する分別の周知徹底を図る。
	37 リサイクル率(灰含む)	%	29.6	31.8	29.9	×	2	環境課	リサイクル対象品目総排出量÷総ごみ排出量×100(%)	上述のとおり、市民及び事業者に対する分別の周知徹底を図る。
	38 フリーマーケットの開催回数	回	1	2	0	×	0	環境課	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの開催方法を検討する。
(3) 廃棄物の適正処理	39 不法投棄パトロールの実施	実施状況	随時実施	随時実施	随時実施	○	3	環境課	月1回を目安に、資源物の持ち去り防止も兼ねたパトロールを実施した。	令和2年度から実施された粗大ごみの一部有料化に伴い、不法投棄件数の増加が予想されたが、件数の著しい増加はなかった。しかし不法投棄件数が横ばいであることから、パトロールによる抑制効果は十分得られているとは言えないので、今後ともパトロールを強化していく。
	40 不法投棄回収の回数	台(収集車)	77	57	61	×	2	環境課	集積所等への不法投棄があった場合に、必要に応じて回収を行った。粗大ごみ有料化のためか、回収件数はやや増加した。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、例年よりパトロールの実施回数が減少した。パトロールの強化に努めていく。
(1) 緑の保全・創出	41 緑地保護地区面積	m <sup>2</sup>	125,015	125,015	110,811	×	1	公園緑地課	令和2年度と同面積を維持した。	緑地を保全するインセンティブとなるように制度の見直しが必要である。
	42 緑被率	%	34.5 (H23年度)	40	34.5 (H23年度)	×	0	公園緑地課	緑被率の調査を行っていない。	令和4年度に「ふじみ野市緑の基本計画」の時点修正を実施する際、緑被率の調査を実施する予定である。
	43 市民農園数	箇所	7	9	9	○	3	産業振興課	昨年度から取り組んでいた。新駒林第一農園及び農業入門塾を無事開設することができた。入門塾については、新型コロナウイルスの影響があり、一部中止となったものの、令和3年度中に13回実施することができた。	令和4年度中に市民農園1箇所（苗間第一）が廃止予定であるため、令和5年度目標値の10箇所に向けて、最低でも2箇所の新規開設が必要である。農業入門塾についても令和4年度末で第1期が満了するので、令和5年度以降の第2期に向けて検証する必要がある。
(2) 水辺環境の保全・再生	44 新河岸川の美化活動回数	回	2	3	2	×	1	道路課	新河岸川清掃活動を縮小して、R3.11月、R4.3月に実施した。なお、埼玉県川越県土整備事務所が主催の新河岸川放水路沿いの清掃活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。	河川の環境美化のほか、協働による維持管理を推進する必要がある。
	(3) 自然環境を育む生物共生空間の保全	45 アライグマの捕獲数	頭	3	15	18	○	3	環境課	アライグマ18頭を捕獲した。
46 新河岸川生息生物の把握(生物調査)		実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	8月25日に新河岸川新伊佐島橋付近において、魚類調査の結果6目7科17種の魚類を確認	市民に分かりやすい指標であり、継続実施が望ましい。

(4) 美しい自然景観と歴史的資産の保全、調和	47 自然環境と調和した歴史、文化財に関する講座回数	回	9	13	2	×	1	教育委員会(社会教育課・公民館・歴史館・歴史館等)	8月4日に小学生を対象にした「権現山探検 権現山の大地を探ろう」(参加者11人)、3月26日に「権現山古墳群周辺の地形散策」(参加者9人)を実施した。コロナ感染防止のため、消毒・換気に留意し、定員を通常の半数程度にし、半日でできるような内容にして実施することができた。	令和3年度は、敷地内の樹木の多くがナラ枯れの被害に遭い、一時閉鎖して被害木の緊急伐採を実施したことから、樹木の病虫害の有無、枯死など定期的な観察の必要性を感じた。 権現山は徳川家康の伝承がある史跡でもあり、県内でも希少な古墳群と雑木林を保全し、歴史と文化、自然を体感できる場所として、「権現山古墳群史跡の森」を多くの人々に周知させるため、保護と利活用の両面から、維持管理の方策、市民対象事業の立案、ボランティアの育成などを検討するとともに、全体の整備活用計画を立てる必要がある。
	48 文化財の指定数	件	58	60	59	×	2	社会教育課	令和3年度は新指定の文化財はないが、新河岸川舟運で栄えた福岡河岸の回漕問屋の一つ「旧江戸屋」の土地と建物が昨年度市に寄付されたため、指定文化財候補として明治時代建築の主屋・穀蔵の建物(未指定の文化財)の維持管理のために、穀蔵棟瓦修繕、主屋屋根修繕、清掃、敷地内の樹木剪定、廃棄物収集運搬処理業務等を実施した。	県指定史跡「権現山古墳群」、市指定文化財「回漕問屋 福田屋」(福岡河岸記念館)、国登録有形文化財「吉野屋土蔵」、旧江戸屋の建物など、新河岸川沿岸の文化財や福岡河岸の景観、自然環境と歴史資産の保全・調和の視点をもった整備活用計画づくりが必要となる。
					計		20	87		
「評価1」：目標値に対し、達成していれば「O」、未達成の場合は「X」。										
「評価2」：完了3点(100%達成)、あて少し2点(約90%達成)、一部実施1点(10~90%達成)、未着手又はほぼ進んでいない0点(0~10%達成)として点数化。										

### (3) 協働による環境協働事業の促進

第2期環境基本計画前期行動計画の施策の柱の1つである「学びと協働の推進」に基づき、環境活動団体が実施する環境協働事業の経費を助成することで、環境活動団体の育成等に努め、環境協働事業の推進を図ります。

#### ①花と緑部会

1 提案事業名	緑のカーテン普及啓発事業
2 事業の目的と事業内容	<p>SDGs 持続可能な開発目標の達成、カーボンニュートラルなどを目標に、環境ボランティア団体として、環境に関する事業を推進し貢献していく。とくに、「緑のカーテン」普及啓発を通じ、二酸化炭素削減、省エネの必要性を広め、各家庭における環境問題への意識向上を図っていく。</p> <p>主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のカーテン用苗の無料配付</li> <li>・緑のカーテン、モデル事業（市役所本庁舎前の緑のカーテン）</li> <li>・緑のカーテン・コンテスト、表彰式の実施</li> </ul>
3 事業の期間	令和3年4月から令和3年9月まで
4 事業実施状況	
令和3年 5月10日	緑のカーテン用苗配布 市役所本庁舎及び大井総合支所にて各150組配布（600株）
5月13日～ 9月30日	緑のカーテンモデル事業として、市役所本庁舎玄関脇において、プランターへの植え付け、ネット等の設置、撤去等
10月16日	緑のカーテン・コンテスト表彰式（30点の応募から選定） 12月～2月にかけてふじみ野市・三芳町環境センターで展示
5 事業の成果	<p>コロナ禍において、一部縮小して開催した事業もあったが、企業、団体、市民の皆様のご理解のもと、順調に事業を推進することができた。</p> <p>当事業を推進したことで、多くの市民の方に省エネ活動に参加してもらい、また環境問題への意識向上を図ることができた。</p>



②ごみ減量をすすめる会

1 提案事業名	ごみ減量推進事業
2 事業の目的と事業内容	ごみ減量を推進するために「ベランダ de キューロ」の利用者数を増やすための展示販売相談会を開催。
3 事業の期間	令和3年4月から令和4年3月まで
4 事業実施状況	
令和3年	
4月14日	定例会
5月12日	定例会
6月22日	展示販売相談会（ふじみ野市役所本庁舎）
7月14日	定例会
9月18日	定例会
9月30日	展示販売相談会（大井総合支所）
11月10日	定例会
11月20日～	展示販売相談会（イオンタウンふじみ野周年祭）
11月21日	
令和4年	
1月12日	定例会
2月9日	定例会
3月27日	展示販売相談会（ふじみ野市役所本庁舎）
5 事業の成果	展示販売相談会を重ねることによってベランダ de キューロを周知することができ、利用者が増えてきた。

ベランダ de キューロ 展示販売会及び相談会実施状況





③上福岡駅前に花と緑を育てる会

1 提案事業名	上福岡駅の駅前西口ロータリーエリア緑地帯の花壇化、維持管理事業
2 事業の目的と事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじみ野市の主駅玄関に相応しく、季節感に溢れた素敵な草花・花木がいつでも咲いている駅前西口ロータリーエリア緑地帯にすることを目的とする。</li> <li>・当該緑地帯を無理なくできる範囲で花壇化、草花・花木を植栽、季節感を有した素敵な緑地帯にすべく自主的・主体的に維持管理する。</li> </ul>
3 事業の期間	令和3年4月から令和4年3月まで
4 事業実施状況	
令和3年4月～令和4年3月	<p>毎週月曜日に上福岡駅西口ロータリーエリア緑地帯花壇を維持・管理、並びに花卉植栽・植替え（冬, 春版、夏, 秋版）を遂行。</p> <p>事業参加者（登録者）97名 （毎週月曜日の作業会には10～20名が参加）</p>
5 事業の成果	<p>駅前西口ロータリーエリア緑地帯（仮称「3本桜緑地帯」及び「ホッケースティック緑地帯」）の雑草除去・石取除き、肥料蒔き、花を咲かせる草花の植栽・植替え（冬, 春版、夏, 秋版）、水遣り作業、並びに周辺清掃等々の適切な維持・管理により緑地帯花壇を確立。</p> <p>結果的に当該エリア及びココネ広場を通行利用する人達の心身を和ませ癒している。</p>

